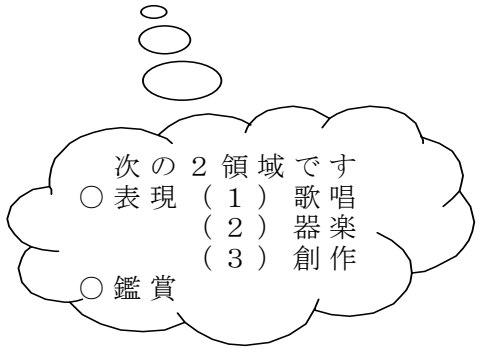


小学校 第5学年「音楽科」シラバス

音楽の領域構成



○ 5年生の目標

- 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

☆評価の観点

- ①「音楽への関心・意欲・態度」
創造的に音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。
→活動の様子、発表、学習カード
- ②「音楽表現の創意工夫」
音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。
→活動の様子、発表、学習カード
- ③「表現の技能」
音楽表現をするための基礎的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。
→活動の様子、発表
- ④「鑑賞の能力」
音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさを理解し、味わって聴いている。
→鑑賞態度、発言、学習カード

	題材及び教材名	主な学習内容
前期	「音の重なりとひびき」 ・心から心へ ・こいのぼり ・茶色の小びん ・こきょうの人々	・旋律の美しさや音楽の仕組みを生かして、表情豊かに歌います。 ・情景を想像しながら、旋律の特徴を味わって歌います。 ・和音や低音のはたつきを感じ取って演奏します。
	「アンサンブルのみりよく」 ☆いろいろな合唱 ・ハロー・シャイニング ブルー ☆組曲「カレリア」から ・星笛 「言葉と音楽」 ☆星とたんぼぼ ・赤とんぼ ☆山田耕筰の歌曲	・いろいろな合唱のひびきを聴き比べます。 ・表現を工夫しながらのびやかな声で歌い合わせます。 ・オーケストラのひびきを楽しんで聴きます。 ・かけ合いや重なりを生かして歌うように演奏します。 ・歌詞と旋律の結びつきを感じながら聴きます。
後期	「音楽の旅」 ・子もり歌 ・谷茶前 ☆日本の民ようと子もり歌 ☆世界の音楽	・日本の民謡や子もり歌に親しみ、特徴を感じ取ります。 ・言葉の美しさを味わいながら、日本の歌曲を聴きます。 ・いろいろな国の音楽の特徴や違いを感じ取りながら、それぞれのよさやおもしろさを味わって聴きます。
	「豊かな表現を求めて」 ・風とケナのロマンス ・冬げしき ・スキューの歌 「音楽のききどころ」 ☆ピアノ五重奏曲「ます」(第4楽章) 「心を合わせて」 ・ルパン三世のテーマ ・君をのせて ・卒業式の歌 ・君が代	・拍の流れによって、フレーズや旋律の流れを生かして表現します。 ・情景を想像しながら歌います。 ・主題の変化や伴奏の動きを聴き取り、変奏曲を楽しみます。 ・互いに聴き合い、自分のパートの役割を捉えて演奏します。 ・6年生の気持ちを想像し、親しみをこめた歌い方を工夫します。